

判定基準 1 周辺地域等への影響（生活環境等）

〔1〕隣接地、前面道路等への影響（危険性等）

判定項目	判定内容	判定	特記
1	落雪による危険性の程度	工作物、立木等の積雪放置により落雪が影響する危険性がある	有・無
2	その他		有・無

〔2〕周辺地域への影響

判定項目	判定内容	判定	特記
1	不特定者の侵入による犯罪、放火等による火災の危険性の程度	玄関等の未施錠により不特定者が侵入する危険性がある	有・無
		扉・窓ガラスの破損等により不特定者が侵入する危険性がある	有・無
		建築物付近の建築資材・枝木等、又は可燃物の放置により火災が発生する危険性がある	有・無
2	生活環境への障害の程度	樹枝の越境や雑草の繁茂等により周辺地域又は道路の構造や通行に支障を及ぼすおそれがある	有・無
		ごみ等の廃棄物が大量に放置されている、又は不法投棄されるおそれがある	有・無
		周辺の道路や家屋の敷地等に土砂等が大量に流出するおそれがある	有・無
		雑草や枯れ草が適切に管理されないこと等による病害虫が発生するおそれがある	有・無
		吹付け石綿等が飛散し暴露するおそれがある	有・無
		排水、又は浄化槽等の放置、破損等から汚物の流出や臭気が発生するおそれがある	有・無
		小動物、害虫等の発生やふん尿による臭気が発生するおそれがある	有・無
3	良好な景観への障害の程度	地区・地域のルールに著しく適合していない状態である	有・無
		景観上、周辺地域へ著しい悪影響を与えている状態である	有・無
4	その他		有・無

【備考】

- ・〔1〕欄について、工作物、立木等の高さ〔H〕と隣接地又は前面道路の境界線までの距離〔L〕の比較により判定の目安とする。（ $H < L$ ：危険性低い、 $H \geq L$ ：危険性高い）
- ・判定内容記載の事象は、自然現象（台風、大雪等）により発生する可能性を含むものとする。
- ・判定が「有」の場合、〔1〕欄には判定内容から特に危険性が増すと予見される事項を特記し、〔2〕欄には周辺地域へ著しい影響（危険性）を与えると予見される事項を特記する。
- ・雨どい、看板、アンテナ及び室外機等の設備機器の落下の恐れ等については、〔1〕欄の「建築資材等の飛散・落下の危険性の程度」欄で考慮し、判定する。

判定基準 1 周辺地域等への影響（建築物、門・塀、自立看板、擁壁、立木）

「1 判定の対象となる空き家等」で、判定の対象を選択する。

「2 影響が及ぶ範囲の判定」で、空き家等の高さHと隣接地又は前面道路の境界線までの距離Lを比較し、周辺地域等への影響の有無を判定する。

「有」と判定された項目毎に「3 隣接する道路及び隣地の種別による周辺地域等への影響の程度の判定」を行う。

道路及び隣地のいずれも周辺地域等への影響が「無」と判定された場合は「4 地域の特性の判定」及び「5 空き家等による周辺地域等への影響の程度」を行う。

空き家等により影響が及ぶ道路及び隣接地が異なる場合は、判定対象毎に上記の判定を行う。

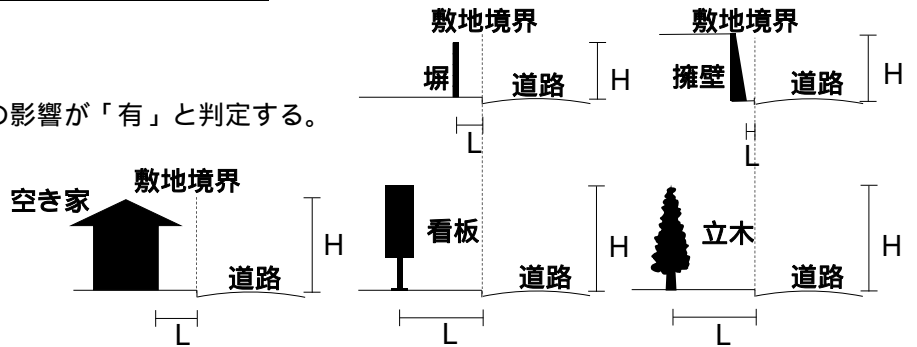
1 判定の対象となる空き家等

建築物 門・塀 自立看板 擁壁 立木

2 影響が及ぶ範囲の判定

H < L の場合は、周辺地域等への影響が「有」と判定する。

項目	影響の有無判定
道路	
隣地	



3 隣接する道路及び隣地の種別による周辺地域等への影響の程度の判定

道路と隣地の評点を合計し、影響の程度を判定する。

項目	種別	配点	評点	評点 (小計)
道路	通学路 緊急輸送道路	50		
	その他	25		
	未接道	10		
隣地	住居等	50		
	空き家	25		
	空き地	10		

4 地域の特性の判定

防火・準防火地域又は特別消防対策区域に位置する場合は、防災上重要な地域の特性を考慮する。

区域	配点	評点	評点 (小計)
防火・準防火地域	25		
特別消防対策区域	25		

5 空き家等による周辺地域等への影響程度

評点 と評点 を合計し、空き家等による周辺地域等への影響の程度を判定する。

評点	評点	評点合計	周辺地域等への影響の程度判定
道路	隣地 地域の特性		

- 100点以上 周辺地域等への影響の程度が非常に大きい
- 100点未満 周辺地域等への影響の程度が大きい
- 75点未満 周辺地域等への影響の程度がやや大きい
- 50点未満 周辺地域等への影響の程度がある